

PHR患者向けセミナー、3月12日に初開催 検査結果確認が5割、医師の説明や治療内容の理解に活用

医療情報の一元化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）は12日、人が一生涯の健康・医療情報を自ら管理できるPHR（パーソナルヘルスレコード）「カルテコ」利用者が、日頃の健康管理や療養環境を向上させるためにどのようにPHRを活用しているかなどを紹介する無料のウェブセミナーを開催しました。「カルテコ」は、患者が医療機関を受診した際の診療記録（傷病名、血液検査などの結果、診療中に使われた薬、処方された薬、処置・手術など）や検査画像、健診結果をWeb上に保管し、パソコンやスマートフォンなどでいつでもどこでも閲覧できるPHRサービスです。当社が2015年6月にリリースし、現在、全国で約3万人が利用しています。

【開催要綱】

2021年3月12日（金）12:10-12:40

基調講演「新・医者にかかる10箇条」

認定NPO法人ささえあい医療人権センター
COML（コムル）

理事長 山口 育子 氏

「等潤いきいき体操」

社会医療法人社団慈生会等潤病院
リハビリテーション部門

PHR活用事例「わたしとカルテコ」紹介

■ PHR活用事例「検査結果の確認が5割」

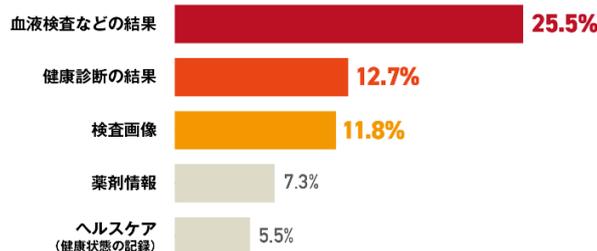
「カルテコ」利用者に、「PHRをどのように活用しているか」をアンケートしたところ、「検査結果の確認に活用している」との答えが5割となりました。

このアンケートは1月27日から2月8日までの13日間、「カルテコ」利用者を対象にWebを通じて実施、回答者数は110人でした。アンケートの中で「PHRをどのように活用しているか」を聞いたところ「血液検査などの結果の確認」が25.5%で最も多く、次いで「健康診断結果の確認」が12.7%、「検査画像の確認」が11.8%となり、回答者のうち5割は「検査結果の確認」に活用していました。

「カルテコ」利用者はPHRを自身の病気・健康管理に生かしていることに加え、診察を受けた後に医師の説明や治療内容への理解を深めたり、家族やほかの医師に情報共有したりするために活用していることが分かりました。



「カルテコ」利用者が確認している情報（上位5つ）



＜本件に関するお問い合わせ先＞

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報部 君塚・赤羽
TEL：03-5283-6911 E-mail:pr@mdv.co.jp